

令和7年度

「運営に関する計画」

(最終評価)

大阪市立三先幼稚園

令和8年2月

大阪市立三先幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

三先幼稚園教育目標 ○主体的に活動する子どもを育てる

- ・いきいきとした、明るい子ども
- ・何事にも取り組もうとする、意欲のある子ども
- ・友達と協調できる子ども
- ・きまりや約束の守れる子ども
- ・しっかり考えて、最後まで頑張れる子ども

を基に、環境を通して豊かな体験ができるような保育を進めていく。遊び場の減少や人とのかかわりが希薄になり、自分の思いをのびのびと表現することに戸惑いを感じる幼児の様子が伺える。幼児一人一人が夢中になって遊ぶ中で、幼児期にふさわしい体験を積み重ね、自分らしさを発揮することができるように、特色ある園運営を図っていく。

また、区に1つの公立幼稚園であることから、地域の幼児教育センター的な役割を果たしていく必要がある。本園の保護者だけでなく地域の方や未就園児の保護者へ、本園の教育内容を広く発信していくように努めていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「安全や災害時などに対する知識を身につけ、安全な生活への意識を高めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

- ・幼稚園は、自分の命を守るための行動が身につくように避難訓練や安全指導に取り組んでいますか。
- ・お子さまは「自分が好き」「友達が好き」という気持ちを持ち、自分のことも友達のことも大切にすることが育っていますか。
- ・幼稚園では個々の幼児理解に努めたり、互いの良さを認め合う気持ちを育んだりしていますか。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「お子さまは遊びの中で学んでいる」の項目について、肯定的に回答する割合を95%以上にする

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「年度当初より、身振りや言葉で友達に思いを伝えようとするようになってきた」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「幼稚園は、規則正しい生活習慣が身につくような指導に努めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

【学びを支える教育環境の充実】

○令和4年度～7年度の年度末教職員アンケート「研修を通して、自身の資質向上につなげることができたか」の項目について、肯定的に回答する割合を100%にする。

○令和4年度～7年度の年度末保護者アンケート「幼稚園は、活動内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする。

【安全・安心な教育の推進】

○今年度末保護者アンケートの「安全や災害時などに対する知識を身につけ、安全な生活への意識を高めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

○今年度末保護者アンケートの「幼稚園の子どもたちは集団の中で楽しんで過ごしている」という項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

○今年度末保護者アンケートの「幼稚園は、いろいろな国や地域の文化や、日本の伝統などにふれる機会がある」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度末保護者アンケートの「お子さまは遊びの中で学んでいる」の項目について、肯定的に回答する割合を95%以上にする
- 今年度末保護者アンケートの「年度当初より、身振りや言葉で友達に思いを伝えようとするようになってきた」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
- 今年度末保護者アンケートの「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
- 今年度末保護者アンケート「幼稚園は、規則正しい生活習慣が身につくような指導に努めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度末教職員アンケートの「研修を通して、自身の資質向上につなげることができたか」の項目について、肯定的に回答する割合を100%にする
- 今年度末保護者アンケートの「幼稚園は活動内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

2 本年度の自己評価結果の総括

3つの視点ともに目標を達成することができたと捉えている。

○【安全・安心な教育の推進】

- ・子どもの実態に合わせて避難訓練を計画的に実施した。また、これまでの訓練とは違う想定も考え、実施したことで、いろいろな課題が見えてきた。教職員も避難に対しての意識が高まっていくように毎月課題について話し合い、内容を検討して行うことができた。
- ・日々、子どもたちの様子を伝え合い、共有する中で、週案を丁寧に立て、一人一人を大切に保育を実践してきたことで、子どもが安心して園生活を過ごし、楽しむ姿につながっている。
- ・年3回外部講師による「英語で遊ぼう」の取組に加え、今年度は、5歳児に中国にルーツのある幼児が3人入園したことで、日本以外の国への興味や関心が高まった。クラスの中で、環境や保育内容に外国語を取り入れる活動を実践する中で、様々な国や言葉に関心をもつ機会となった

○【未来を切り開く学力・体力の向上】

- ・自園の教育内容を保護者に分かりやすく発信するため、毎月担任によるドキュメンテーションを活用した保育室降園を実施した。保護者からも「写真を見ながら話を聞くことで、より保育の流れや子どもたちの様子が分かりやすい」という意見が聞かれた。
- ・園内で季節や子どもの実態に合わせて環境の再構成を行ったことで、直接体験と継続した関わりを通して子どもたちの自然物への気付き、興味や関心の深まりが見られた。
- ・一年を通して、毎日、戸外でいろいろな遊びを通して体を存分に動かすことで、しなやかな体づくりにつながり、意欲的に体を動かして遊ぶことを楽しむようになった。
- ・年間を通して「げんきかーど」や「はやねういーく」を活用し、保健指導を実施してきたことで、基本的な生活習慣を身につけ、自分の体に関心をもって大切にしようとする気持ちにつながってきた。その姿を発信することで、園での規則正しい生活習慣についての指導を保護者にも意識して実践してもらうことができた。

○【学びを支える教育環境の充実】

- ・学期末に園長がパワーポイント用いて、子どもの姿を通して教育内容を発信してきた。写真を見ながら話すことで、内容が分かりやすく、保育のねらいや意図を分かってもらえる機会となった。
- ・地域・諸団体と連携を行い、地域に深くつながる公立幼稚園として交流を行った。継続して交流を続けることで、人とのつながりを実感する姿につながっている。子どもも保護者も教職員も地域を大切に、大切にされている実感をもてる交流の場を、今後も設けていく。

大阪市立三先幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【安全・安心な教育の推進】 ○今年度末保護者アンケートの「安全や災害時などに対する知識を身につけ、安全な生活への意識を高めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする ○今年度末保護者アンケートの「幼稚園の子どもたちは集団の中で楽しんで過ごしている」という項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする ○今年度末保護者アンケートの「幼稚園は、いろいろな国や地域の文化や、日本の伝統などにふれる機会がある」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする | A |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 自分の命を大切にし、安全な行動や考える力を身に付ける為の指導に取り組む 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練年間計画を作成し、月に1回避難訓練を行い、日時を知らせずに実施するなど内容を工夫する ・防災教育について、全教職員で月に1回以上話し合う機会をつくり、課題について共通理解し、PDCAサイクルを生かした訓練を実施する ・1学期に引き取り避難訓練を行う | A |
| 取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 一人一人を大切にしたい保育ができるように、幼児理解に努め、幼児の実態に応じた指導方法を工夫する 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園内委員会を開き、幼児理解に努める ・スケジュールや視覚カードを使用し見通しを持って生活できるよう環境を整える ・専門機関、アドバイザーの助言を受け幼児の実態にあった保育に努める | A |
| 取組内容3（基本的な方向2 豊かな心の育成） 保育内容を工夫し、多文化に親しむ活動を実施する 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・年3回、講師による「英語で遊ぼう」を実施する ・いろいろな国の文化に親しめる遊びを年5回程度取り入れる | B |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|--|
| 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 保護者アンケートの「安全や災害時などに対する知識を身につけ、安全な生活への意識を高めている」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる93%ややあてはまる7%）であった。 ・4月（火災）3歳児は園庭で4・5歳児の避難する様子を見学した。出火場所に近づかないような経路、園庭での避難場所を考える必要があったことを再確認した。 ・5月（地震・津波・近隣の中学校へ二次避難・3歳児のみ保護者同伴）4・5歳児は防災頭巾を被って避難するため、事前に被る練習や視界の確認を行った。自分でスムーズに取り出せるような入れ物の工夫や園舎周りの整備を日頃から保護者へ啓発しておく必要性を改めて感じた。 ・6月（火災）前回の訓練を覚えており、混乱せずに避難することができた。煙の充満を防ぐため使用していない部屋の扉は日頃から閉めておくことの必要性を再確認した。 ・7月（火災）5歳児には時間を知らせずに実施。火災と地震の避難方法について話をしていたが非常ベルが鳴ると咄嗟の判断に混乱する様子が見られた。次回の避難訓練につなげられるよう、避難の内容や避難方法について再確認した。 ・9月（台風・大雨・園内引き取り訓練）初めての災害想定で訓練を実施。避難指示を聞き、落ち着いて避難できた。日頃から様々な災害を想定して避難の方法を考えておくことを再確認した。 |

- ・ 1 1月（大阪 880 万人訓練）5 歳児は行事のため、3・4 歳児のみでの実施。園庭で遊んでいる際に、区役所からの放送を聞き、近くの教職員のもとに素早く集まることができた。携帯などから、実際に緊急地震速報や大津波警報の音が鳴り、放送や教職員の指示をしっかりと聞いて避難することができた。
- ・ 1 2月（不審者）今年度初めて実施。不審者侵入の際の合言葉や避難場所を知らせて話をした。避難経路や避難後の待機の方法について振り返ることができた。
- ・ 1月（地震・津波・近隣の中学校へ二次避難）3 歳児は初めて二次避難を園児のみで実施。1 月に実際に地震を経験した子どももいたことで、より地震の怖さを感じ、緊張感をもって訓練できた。
- ・ 2月（火災）初めて園庭近くの民家での火災を想定して実施。1 学期の火災訓練とは違う場所に避難したことで、発生場所に応じて避難場所を臨機応変に考える機会となった。
- ・ 4月（園庭の遊具や遊び方の安全指導）年齢に応じた使用方法や危険な遊び方について知らせたことで大きなケガにつながらず遊ぶことができています。また、園庭開放が始まる前に安全指導についての手紙を配布することで共通理解を図った。
- ・ 6月（プール遊びの安全指導）教員が危険な遊び方や約束事などについて演技をし、問いかけながら園児と一緒に再確認したことでプール遊びでの事故を防ぐことができた。

取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

保護者アンケートの「幼稚園の子どもたちは集団の中で楽しんで過ごしている」という項目について、肯定的に回答する割合は 100%（あてはまる 93% やあてはまる 7%）であった。

- ・ 毎月教職員で幼児理解、家庭や寮での状況や保護者対応などを共有し支援ができるようにした。支援方法についても教職員で話し合い、より個に応じた支援方法を共有し子どもに関わるようにした。
- ・ 見通しをもって生活できるよう各クラスでスケジュールを知らせ、個に応じた視覚的教材を使用したことで、子どもも落ち着いて生活できるようになった。
- ・ 6月9日、10月17日に巡回指導を、療育施設とは毎月園訪問を実施し、専門的な知識や支援方法を多面的に捉えることで、個に応じた支援につながった。
- ・ 区の相談員、小学校の引継ぎなど就学に向けて情報共有を行い、連携を図った。

取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

保護者アンケートの「幼稚園は、いろいろな国や地域の文化や、日本の伝統などにふれる機会がある」の項目について、肯定的に回答する割合は 97%（あてはまる 69% やあてはまる 28%）であった。

- ・ 9月、12月、2月に「英語で遊ぼう」を実施。講師による音楽や絵本などを通して簡単な英語に触れる機会となった。3月、5 歳児が三先小学校の英語の授業に参加予定である。
- ・ 今年度 5 歳児に中国にルーツのある幼児が 3 人、3 歳児に韓国にルーツがある幼児が 1 人在籍。5 歳児では、普段から簡単な言葉を中国語に言い換えたり、数字を数える時は両方の言葉で数えたり、中国語と日本語の言葉を貼り出し、幼児同士で中国語を使って簡単なやりとりができるようにしていたことで、自分から中国語で声をかける姿が見られた。保育の中で、ポケトークや翻訳アプリを使用し、教師とのやりとりだけでなく、中国にルーツのある幼児、周りの幼児が伝えたいことがある時にも活用できるようにしたことで、幼児同士をつなぐことにつながった。また、他国の言語や国旗、世界地図などの掲示物や絵本も活用したり、生活発表会では世界の国の数え方がでてくる「かぞえうた」を歌ったりして、様々な国や言葉に関心をもつ機会となった。
- ・ 4、5月の誕生会で、教師からのプレゼントとして、色や動物の名前の英語が出てくる、大型絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」を読んだ際に、中国語も取り入れて読み、日本語・英語・中国語に親しめる機会になるようにした。
- ・ 5 歳児が、普段から遊んでいた世界の挨拶が入った体操を誕生会で披露したことで、3・4 歳児にも親しめる機会となるようにした。運動会では、英語の言葉が入った曲で体操をした。中国語や英語もある曲だったので、他の国の言葉の音楽で体を動かして遊ぶことも喜んでいました。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

- ・ 様々な想定で月 1 回以上の避難訓練を行い、自分の命を守り、安全について考えられるようにする。

取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

- ・ 専門機関、教職員で連携し、個に応じた支援方法を共有しながら関わりを工夫する。
- ・ 教職員で話し合い、具体的な支援を考え、共通理解を図る。

取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

- ・ 様々な国の文化や言葉などに触れられるように、保育内容を工夫する。

大阪市立三先幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○今年度末保護者アンケートの「お子さまは遊びの中で学んでいる」の項目について、肯定的に回答する割合を95%以上にする。 ○今年度末保護者アンケートの「年度当初より、身振りや言葉で友達に思いを伝えようとするようになってきた」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする ○今年度末保護者アンケートの「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする ○今年度末保護者アンケート「幼稚園は、規則正しい生活習慣が身につくような指導に努めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする | A |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムを参考にしながら、三先幼稚園の教育課程を見直し、特色ある保育を実施する | B |
| 指標 ・毎月、教師が子どもの学びについて振り返り、三先幼稚園の教育課程に反映する ・月1回保育室帰りにクラスの取組についてドキュメンテーションを作成し、発信する ・就学前教育カリキュラムに関する研修に、全員1回以上参加する | |
| 取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 子どもが自然と関わる楽しさを味わえるような環境構成や保育内容の工夫を図る | A |
| 指標 ・学期に1回、園内や園庭の環境について見直し、再構成を行い、自然と関わる楽しさを味わえるような保育を展開する ・気持ちや気付いたことを伝え合えるよう、週に3回程度、振り返りの時間を設ける ・年4回、園内研究会及び討議会を行う | |
| 取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 子どもが意欲的に体を動かして遊べるような保育内容を工夫する | A |
| 指標 ・毎月1回以上、全学年で集会をし、体を動かす遊びを実施する ・思わず体を動かしたくなるような環境を工夫する | |
| 取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活を身につけ、自分の体に興味や関心をもてるようにする | A |
| 指標 ・学期に1回以上、生活習慣に関する保健指導を行い、カレンダーを活用した事後指導を実施する ・学期に1回以上、好ましい姿勢について指導を行い、身につけられるような習慣づくりを実施する ・保護者啓発として、毎月の保健指導の内容をほけんだよりや掲示などに工夫をして知らせる | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

| |
|--|
| 取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 保護者アンケートの「お子さまは遊びの中で学んでいる」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる93%ややあてはまる7%）であった。 ・毎週担任が、幼児のねらいや育ちを基に次週の保育について話し合い、教育課程を参考にしながら保育計画を立て実践している。園全体で行う保育内容と、クラス毎に年齢や発達に応じた保育内容を考え、実践に結び付けてきたものを学期末に見直し、再作成した。 |
|--|

- ・月に一度、保育室降園を実施。その時期の保育の取組や幼児の育ちを見せたり話したりしながら教育内容を発信した。ドキュメンテーションで写真を交えて掲示することで、欠席や、預かり保育で参加できない保護者にも分かりやすく発信することができた。
- ・2学期終業式の保護者会では、就学前教育カリキュラム概要版を配布し、パワーポイントでいろいろな遊びや行事の様子を写真とともに話し、園の教育内容や子どもの育ちについて共有した。
- ・就学前教育カリキュラムパイロット園所実践教育研究報告会に参加し、学びを深めた。

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

保護者アンケートの「年度当初より、身振りや言葉で友達に思いを伝えようとするようになってきた」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる89%ややあてはまる11%）であった。

- ・昨年度、園内環境を見直し、園内マップを作成したことを生かし、栽培のタイミングや自然物の変化などを見逃さないように保育をしてきた。栽培物を植えた後、世話をしたり、観察したりしたことで、収穫の喜びや種採りの面白さなど最後まで幼児と一緒に楽しんだ。栽培は思うようにいかないこともあるが、直接体験を通して、自然を好きになる気持ちが高まった。
- ・野菜の栽培を通して家庭や寮とも連携できるよう「やさいかード」を配布し、食べた野菜や果物の見た目や味などについて書いてもらうことで、家庭での様子も知ることができた。

| | |
|------------|---|
| 春～夏に栽培した野菜 | イチゴ、ミニニンジン、スナップエンドウ、ソラマメ、キャベツ、タマネギ、サクランボ、エダマメ、ナス、ミニトマト、ピーマン、パプリカ、オクラ、バジル、スイカ、ゴーヤ、サツマイモ、コツマンキン |
| 秋～冬に栽培した野菜 | ダイコン、ブロッコリー、カリフラワー、サニーレタス、茎ブロッコリー、芽キャベツ、カブ、スナップエンドウ、ソラマメ、タマネギ、ジャガイモ |

- ・週3回程度、遊びの中で気付いたことや感じたことを友達と伝え合い、遊びを共有できるように振り返りの時間をもった。水遊びの後には、話す内容がより伝わるように実際につくった色水を見せたり、5歳児は、自分のつくったものを説明しやすくなるよう花の写真のカードを使ったりした。生活発表会の取組では、劇遊びの進め方や見せ方について、話し合いをしながら進めた。幼児が気持ちや考えを伝え合えるように、クラスの実態や子どもの発達段階に合わせて、話し合いや振り返りの持ち方や進め方を工夫したことで、話し合いが深まった。
- ・5月、7月に実践記録の検討会を行い、教師間で幼児の姿を多面的に捉え、意見を出し合い、学びを深めた。園内研究保育は、11月10日に4歳児が技法「ステンシル」、11月19日に5歳児が技法「スタンドグラス」、1月16日に4歳児が「劇遊びにつながる表現遊び」を実施した。教師間で保育を見合う機会をもち、意見や気付いたことを話し合い、資質向上につなげた。

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

保護者アンケートの「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる89%ややあてはまる11%）であった。

- ・毎月の誕生会では、全学年で関わるふれあい遊びを通して、友達や保護者と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり触れ合って遊んだりする楽しさを感じた。

| | | | |
|-----|---------------------------|-----|------------------------|
| 4月 | どうぶつたいそう1・2・3 | 5月 | できたらイエーイ！ めっちゃげんき体操 |
| 6月 | エビカニクス音頭 せんたくもったいないばあさん音頭 | 7月 | ペンギンのプール体操 なつやさいサンバ |
| 8月 | あわせてYeah！ | 9月 | ラララ体操 ウキウキパレード |
| 10月 | なかよしわか | 11月 | どろぼうネコとネズミけいぶ |
| 12月 | おもちゃがとれない | 1月 | こすれこすれ |
| 2月 | じしゃくのパワー | 3月 | おんせんはいろっか（予定） |

- ・園外保育に向けて全学年でペアを組んで園内散歩やふれあい遊びを取り入れた。
- ・毎日、戸外遊びを実施。様々な運動遊具で遊んだり、実態に合わせて体を動かす活動を工夫したりすることで、子どもの体力・体幹づくりにつながった。これまでの遊びを取り入れた運動遊びや表

現遊びを運動会の競技や演技として取り入れ、大勢のお客様に見てもらうことで、達成感や充実感を味わった。その後も、5歳児のチャレンジ遊びに憧れ、縄遊び、一輪車、フープなどに取り組む中で積極的に体を動かして遊ぶことで、体力・体幹づくりにもつながった。

取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】

保護者アンケート「幼稚園は、規則正しい生活習慣が身につくような指導に努めている」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる94%ややあてはまる6%）であった。

- ・生活習慣の自立と体への興味や関心を高めるため、年齢に応じたねらいを設定し、以下の保健指導を実施した。

| | | | |
|-----|----------------|-----|----------------|
| 4月 | 衣服の着脱・清潔について | 5月 | 手洗いについて |
| 6月 | 歯と口の健康について | 7月 | 熱中症について |
| 9月 | 早寝について | 10月 | 排便・トイレの使い方について |
| 11月 | 風邪・インフルエンザについて | 12月 | 食育について |
| 1月 | 骨・姿勢について | 2月 | 心の健康について |
| 3月 | 成長について（予定） | | |

指導後は、「げんきか一ど」を1人1冊配布し、事後活動を行った後、家庭に持ち帰り、保護者が確認するよう声かけをし、家庭との連携を図った。

9月と1月には「早寝ういーく」を実施し、登園時に保護者に協力してもらい「げんきか一ど」にシールを貼る活動を行い、早寝の習慣化に努めた。

- ・4・5歳児には、4月保健指導時に正しい姿勢について知らせた。また9月の保健指導時には、運動会に向けた活動の一環として全学年において正しい立ち方の指導を行った。1月の保健指導時には、正しい姿勢の必要性が分かるように骨について知らせたから、正しい姿勢についての確認を行った。「カッコいいから」「先生に言われるから」正しい姿勢でいようと思っていた子どももいたようで、自分の健康のために姿勢を維持しようとする姿が見られるようになってきた。

毎月の保健指導前には「話を聞く姿勢になろう」と声をかけ、合言葉をきっかけに正しい姿勢になるよう指導した。全学年において、昼食後の歯みがき時にも同様に合言葉を決めて、正しい姿勢でいられるよう支援した。

- ・保護者啓発として、毎月ほけんだよりに指導の内容と様子を掲載すると共に、HPには指導の様子が保護者に伝わるよう写真を載せた。
- ・長期休業中に、「げんきか一ど」のファイルを持ち帰り、夏季は「夜の歯みがき」と「朝ごはん」、冬季は3歳児「朝ごはん」4・5歳児「三色栄養」についての習慣が身につくようにした。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】

- ・次年度も、実践を教育課程に反映させながら、自園の特色ある保育を実践する。
- ・写真を活用し、幼児の成長を伝えながら、幼稚園教育のねらいや内容、取組について、引き続き、分かりやすく発信する。

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

- ・引き続き、園内の自然環境について見直し、再構成しながら、タイミングを逃さず保育を進める。
- ・振り返り活動の実施の仕方を探り、幼児が気持ちや気付きを伝え合える環境づくりに努める。
- ・計画的に園内研修を実施し、教職員の学びや資質向上につなげる。

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・次年度も、各クラスや集会の時間に、季節や実態に応じた体操や体を動かす遊びを取り入れる。
- ・毎月の保育室降園の際に、子どもたちが楽しんで体を動かしている姿を見てもらったり、保護者も一緒に体を動かして遊んだりするなど、保護者への発信をする。

取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・HPやほけんだよりの電子発信による保護者への啓発と共に、直接保護者に対しての啓発を積極的に行う。

大阪市立三先幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【学びを支える教育環境の充実】 ○今年度末教職員アンケートの「研修を通して、自身の資質向上につなげることができたか」の項目について、肯定的に回答する割合を100%にする ○今年度末保護者アンケートの「幼稚園は活動内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の資質向上を図り、しなやかな組織づくりにつなげる 指標 ・「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた、キャリアステージに対応した研修に、各教員3回以上参加する ・毎月2回、「ゆとりの日」を確実に実施する | B |
| 取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 地域や保護者に活動内容や教育方針を分かりやすく伝える 指標 ・週3回程度、HPに活動の様子を掲載する ・学期に1回程度、取組内容について、ドキュメンテーションを作成し、発信する ・地域・諸団体とのふれあいを通して、幼稚園教育を発信する | B |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|---|
| 取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員アンケートの「研修を通して、自身の資質向上につなげることができたか」の項目について、肯定的に回答する割合は100%（あてはまる100%）であった。 ・各教員が、キャリアステージに対応した研修に、学期に1回以上参加し、学びを深め合った。 ・毎週1日ゆとりの日を設定し、時間外勤務をなくすようにしているが、今年度は異動や不在といった職員体制により、実施できない状況であった。12月より、担任が着任し、時間外勤務も平均になり、本当の意味でのゆとりの日を実施し、しなやかな組織づくりができるようになった。 取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 保護者アンケートの「幼稚園は活動内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答する割合は98%（あてはまる78%やあてはまる20%）であった。 ・各遊びや行事について「幼稚園日記」HPを更新し、活動内容を伝えた。 4月…新学期の様子、入園式、健康診断、保健指導、園庭遊びやクラス活動、避難訓練 他 5月…夏野菜苗植え、保健指導、交流活動、どろんこ遊び、絵の具遊び 他 6月…引き取り避難訓練、交流活動、栽培活動、保健指導、水遊び、飼育活動 他 7月…交流活動 8月…夏休みの様子、収穫の様子、交流活動 9月…遊びの様子、運動会ごっこの様子、保健指導、園外保育、野菜の収穫の様子 他 10月…運動会までや運動会後の遊び、保健指導、園外保育、交流活動、苗植えの様子 他 11月…うたごえひびけなにわっこ、保健指導、園外散歩、小学校との交流（歯科ポスター） 他 12月…港区歯科保健推進事業、保健指導、交流活動 他 1月…始業式、保健指導 交流活動 他 2月…生活発表会、お別れ園外保育、交流活動 他 3月…保育の様子、保育修了式 他（予定） |

- ・ 2学期始業式と終業式には、パワーポイントを作成し、幼稚園の取組や活動の様子を保護者に伝えた。また、3学期終業式にも伝える予定になっている。
- ・ 地域・諸団体とのふれあい活動を通して、幼稚園の保育活動を伝えた。
- ・ 3学期には、港区子育て支援専門部会会議に参加し、地域の子どもたちや子どもたちを取り巻く環境について情報交換をしたりすることができた。

三先憩いの家…5月と11月に5歳児が、2月に4歳児が訪問し、一緒に歌を歌ったり、ふれあい遊びを楽しんだりした。11月には、5歳児が音楽会の歌を披露し、地域の方々と交流することができた。

港南中学校…1学期と3学期には、地震の避難訓練で中学校に避難し、保護者に引き取りの訓練を行ったことで、近隣の学校のことについて知ることができた。夏休みには、預かり保育に参加している子どもたちが吹奏楽部の演奏を聞かせてもらい、親しみをもつ機会になったり、3学期の避難訓練後には、ふれあいコンサートで吹奏楽部の演奏を聴いたり、5歳児が歌を歌ったり、交流することができた。2学期には5歳児が体育祭に参加したり、2年生が職場体験で幼稚園に来てくれたり、3年生が家庭科の授業で作った絵本を持ってきてくれ読み聞かせてくれたり、園庭で一緒に遊んだりした。また、中学校のグラウンドで凧揚げをさせてもらった。

三先小学校…5月と11月に4・5歳児が校内にある三先山へ遊びに行き、校長先生や教頭先生に挨拶をしたり、小学生と顔を合わせたりした。後日、お礼の絵手紙をかいて渡した。また、6月と11月に小学校健康委員会から歯と口の健康についてのポスターを受け取り、毎日の活動時に掲示物を見れるようにした。3学期には、5歳児が就学に向けて1年生との交流を予定している。

ふれあいランド…月1～2回実施し、地域の未就園児に施設を開放したり、園児が歌を歌ったり、絵本などを一緒に楽しんだりすることで、交流し、園内の幼稚園の様子を知ってもらう機会となった。3学期には、生活発表会での劇遊びや歌、合奏を見てもらい、自信にもつながった。

池島小学校…3月に5歳児が学校施設見学を予定している。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・ 自身の研鑽につながる研修に引き続き参加し、教職員間で報告・共有する。
- ・ ゆとりの日には、時間外勤務をせずに帰るような意識をもって、計画的に協力しながら仕事を進められるような組織づくりをする。

取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・ 多くの人に幼稚園の保育内容を知ってもらえるように発信方法を工夫しながら、こまめにHPを掲載していく。
- ・ 地域・諸団体とのつながりを大切にし、接していくことができる交流の場をつくっていく。